

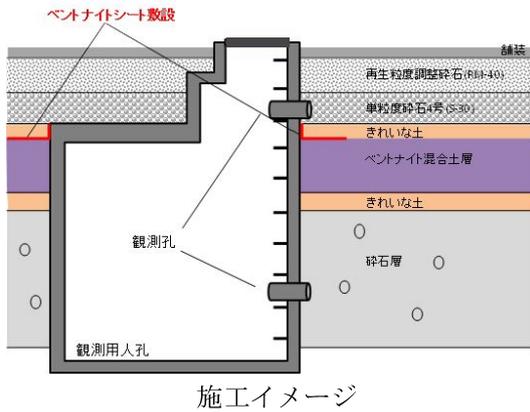
資料 2

補助 315 号線連絡通路部の
水銀等ガス濃度上昇防止策

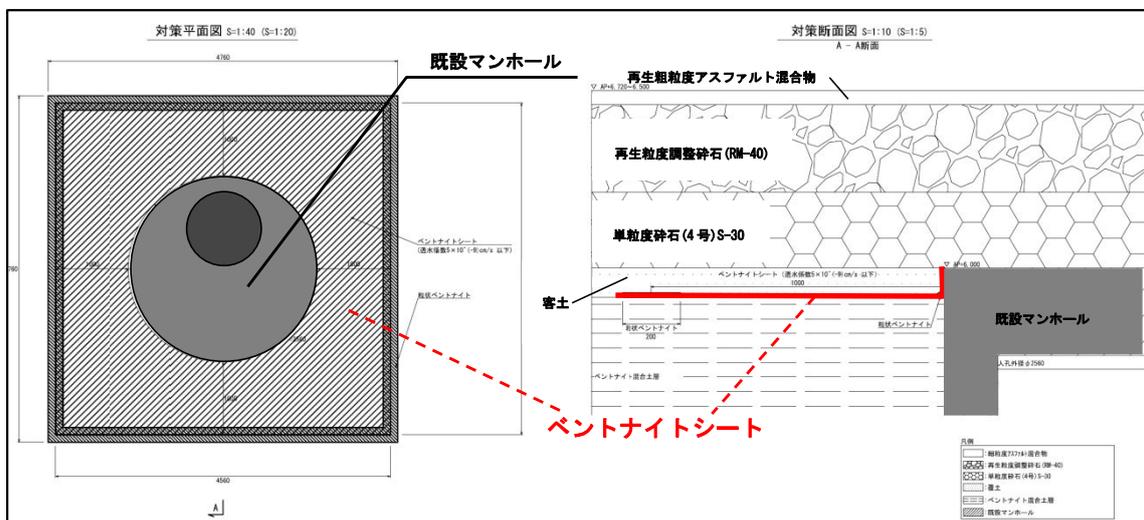
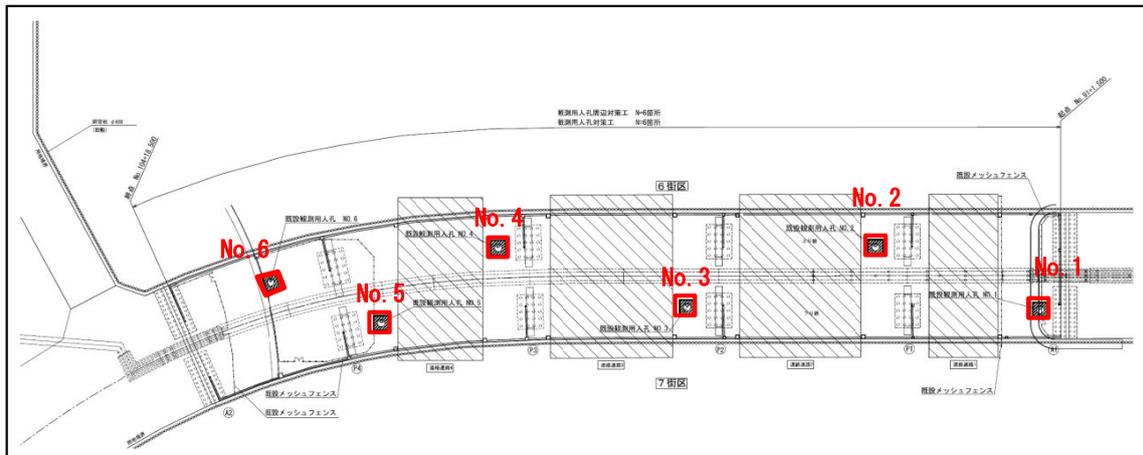
補助3 15号線連絡通路部の追加対策

1. 追加対策の内容

- ・ベントナイト混合土層の表面に、人孔と一体的にベントナイトシートを敷設。
- ・人孔とベントナイト混合土層境界面を覆うことで、境界面からの揮発性物質の上昇を防ぐ。
- ・対策箇所は、専門家会議と相談の上、6箇所の人孔すべての箇所で追加対策を実施。



施工箇所の位置および対策の詳細を下記に示す。



2. 施工状況



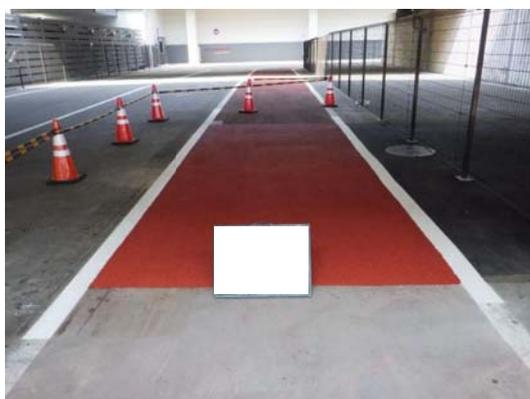
掘削完了



ベントナイトシートの設置



ベントナイトシートの設置完了



埋戻し・復旧完了

3. 追加対策実施後の確認調査結果

①ベントナイトシート敷設後に全体を密閉シートで覆い、24時間静置し、対策を行ったベントナイトシートの直上（密閉シート内）で空気を測定（平成30年3月16～17日）。

測定の結果、いずれの箇所においても大気環境基準等に適合。



密閉シート設置前



密閉シート設置後

対策箇所での空気測定結果（平成 30 年 3 月 16～17 日採取）

観測用人孔	基準値等	定量下限値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6
ベンゼン (mg/m ³)	0.003 ^{※2}	0.0003	0.0011	0.0009	0.0009	0.0008	0.0008	0.0009
シアン (mg/m ³)	0.003 ^{※3}	0.002	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀 (μg/m ³)	0.04 ^{※4}	0.004	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

※1 不検出は「定量下限値未満」であることを示す。

※2 ベンゼン等による大気汚染に係る環境基準について（平成 9 年 2 月 4 日 環境庁告示 4 号）

※3 米国環境保護庁の慢性的な吸引に関する参照濃度（RFC）

※4 有害大気汚染物質に係る指針値（平成 15 年 9 月 30 日 環管総発 03093004 号）

②舗装復旧後、上部砕石層内の換気（平成 30 年 6 月 9～23 日）を行い、上部砕石層内（観測孔）の空気を測定（平成 30 年 6 月 23～24 日）。

測定の結果、いずれの箇所においても大気環境基準等に適合。

対策後の上部砕石層内の空気測定結果（平成 30 年 6 月 23～24 日採取）

観測用人孔	基準値等	定量下限値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6
ベンゼン (mg/m ³)	0.003 ^{※2}	0.0003	0.0003	不検出	不検出	0.0006	0.0004	0.0007
シアン (mg/m ³)	0.003 ^{※3}	0.002	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
水銀 (μg/m ³)	0.04 ^{※4}	0.004	0.006	0.031	0.028	0.039	0.026	0.025

※1 不検出は「定量下限値未満」であることを示す。

※2 ベンゼン等による大気汚染に係る環境基準について（平成 9 年 2 月 4 日 環境庁告示 4 号）

※3 米国環境保護庁の慢性的な吸引に関する参照濃度（RFC）

※4 有害大気汚染物質に係る指針値（平成 15 年 9 月 30 日 環管総発 03093004 号）